

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

22日

仏滅 胃

旧2月3日

水曜

妙法蓮華経序品第一

梵ぼん音のん深じん妙みよう

「仏さまの清らかな声に耳を澄ましましょう」

仏さまが教えを説く清らかな声「梵音」は深く不思議な力で聞く人を導きます。

そのお声を聞くと心が清らかなになり、迷いが取り除かれ、気持ちやかなになります。

そしてその晴れやかな気持ちで人に接していけば、仏さまの教えが弘まり、清らかな仏の国が築かれていきます。

まずは「梵音」を聞こうと耳を澄ませてみることから始めましょう。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

23日

天皇誕生日

大安 昴

旧1月2日

木曜

妙法蓮華経序品第一

じん しよ く さい

尽諸苦際

「苦しみを取り除く道筋」

「尽諸苦際」とは苦しみを際限なきまでに取り除くこと。

私たちは生老病死の四苦を始めとする苦しみの中で生きています。

しかし苦しみの渦中にいるときには、何が苦しいのか、なぜ苦しいのか、どうしたらよいのかなどのことが、自分ではわからないものです。

それらを解きほぐし、諦かにしていくことが「尽諸苦際」の道筋です。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

24日

赤口 畢

旧2月5日

金曜

妙法蓮華経序品第一

為説縁覚

「日々の出来事に真理を見る」

「縁覚」というのは縁によって覚る人のこと。

ちなみに「覚り」は真理に目覚めること、「悟り」は吾（わが）の心の煩惱に気づくことです。

「縁」すなわち日々出会う事柄について深く考えて、気づきを得て覚る人が「縁覚」です。

縁覚は独覚ともいわれ、一人で行に努め、静寂を好み、他人を教え導かないので仏の悟りには至らないといわれていましたが、法華経では縁覚も仏に成ることができると説かれています。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

25日

先勝 齋

旧2月6日

水曜

妙法蓮華経序品第一

為説淨道

「他者のために歩む淨い道」

「淨道」とは菩薩の道。

菩薩は他者の悩みも取り除きながら共に悟り
に向かう人です。

菩薩の道は、「慈」喜びを与える・「悲」苦しみを
取り除く・「喜」ともに喜ぶ・「捨」平等に接する
の四つの心「四無量心」から入ります。

そして他者の喜びも苦しみも自分のものとし
て、善いことをしても見返りは求めずに歩む淨
い道が「淨道」です。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

26日

友引 参

旧2月7日

木曜

妙法蓮華経序品第一

今当略説

「千億にも及ぶ菩薩行の一部を紹介する」

お釈迦さまの白毫が照らした世界において弥勒菩薩が見た「菩薩行」は千億にも及びました。そのすべては紹介できないので、「今、略して説く」と二十八例が紹介されています。そこには自らの悟りのために修行し努力する「自利行」が十四例、他者の救済のために尽くす「利他行」が十四例と同数挙げられています。「自利」と「利他」双方が絡み合う菩薩行の困難さを示唆しているのです。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

27

日

先負 井

旧2月8日

月曜

妙法蓮華経序品第一

に ぐ ぶつ どう
而求仏道

「菩薩の真似から仏道を求める」

私たち凡夫が仏道を求める修行は、菩薩のお手伝いをするところからはじまります。

他者の悩みも取り除きながら共に悟りに向かう菩薩を手伝い、真似をしながら修行を積んでいるうちに、私たちも菩薩となり、やがては仏さまのようにも成れるはずです。

私たちの周りにはすでに菩薩道を歩んでいるすばらしい人がいるはずです。

その人の真似から仏道が始まるのです。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

2月

28日

仏滅 鬼

旧2月9日

火曜

妙法蓮華経序品第一

わく う ぎょう せ
惑有行施

「さまざまなる布施行を實踐する」

金銀宝石や衣食住を他者に施す菩薩行は理解しやすいでしよう。

序品には妻子や使用人、手足眼など肉体を施すという表現があります。

これには、一つは徹底した捨離を通して悟りを得る困難さを示すため、もう一つは妻子や周囲の人と共に仏さまに施すこと、全身を使って仏さまに仕えることを示すためだと理解できると思います。

妙法蓮華經。序品。第一

〈略〉

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 求無上道 | 欄楯華蓋 | 願得是乘 | 金剛諸珍 | 而求仙道 | 如是衆多 | 為說淨道 | 志求勝法 | 嚮老病死 | 種種因緣 | 無數億萬 | 演說經典 |
| 又見菩薩 | 軒飾布施 | 三界第一 | 奴婢車乘 | 或有行施 | 今当略說 | 文殊師利 | 為說緣覺 | 為說涅槃 | 以無量論 | 梵音深妙 | 微妙第一 |
| 頭目身體 | 復見菩薩 | 諸仙所歎 | 宝飾輦輿 | 金銀珊瑚 | 我見彼土 | 我住於此 | 若有仙子 | 盡諸苦際 | 照明佛法 | 令人樂聞 | 其声清淨 |
| 欣樂施与 | 身肉手足 | 或有菩薩 | 歡喜布施 | 真珠摩尼 | 恒沙菩薩 | 見聞若斯 | 修種種行 | 若人有福 | 開悟衆生 | 各於世界 | 出柔軟音 |
| 求仙智慧 | 及妻子施 | 駟馬宝車 | 回向仙道 | 凶技碼碯 | 種種因緣 | 及千億事 | 求無上慧 | 曾供養仙 | 若人遭苦 | 講說正法 | 教諸菩薩 |